



福岡医発第51号（地）

平成25年 4月 4日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 松 田 峻一良
（ 公 印 省 略 ）

来年度における先天性代謝異常等検査に係る周知について

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

今般、標記検査につきまして、別添のとおり新たな検査法の導入による対象疾患の拡大を平成25年4月1日より実施する旨、福岡県保健医療介護部健康増進課長より連絡がありましたので、お知らせいたします。

つきましては、貴会におかれましても本件にご了知いただくようよろしくお願い申し上げます。

なお、産科及び小児科医療機関においてご利用いただく別紙チラシと保護者への説明文に関しましては、福岡県保健医療介護部健康増進課より貴会所属の各医療機関に配布されることにつきましてもご承知いただきますようよろしくお願い申し上げます。また、北九州市及び福岡市の医療機関に対しましては、各市より周知される予定となっておりますことを申し添えます。

小郡三井医師会より

母子保健担当理事 松行眞門
会長 蒲池 壽

平成25年3月28日

社団法人福岡県医師会会長 殿

福岡県保健医療介護部健康増進課長
(母子保健係)

来年度における先天性代謝異常等検査に係る周知について

日頃より母子保健対策の推進については、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、標記検査につきましては、別紙のとおり新たな検査法の導入による対象疾患の拡大を平成25年4月1日より実施することとなりました。

つきましては、産科及び小児科医療機関においてご利用いただく別紙チラシと保護者への説明文を作成し、貴会所属の各医療機関に配布することについて、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

なお、北九州市及び福岡市の医療機関に対しては、各市から周知する予定です。

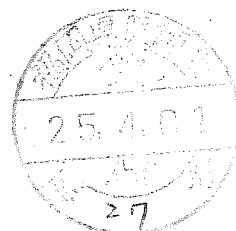
問い合わせ

福岡県保健医療介護部

健康増進課母子保健係 大庭

電話 092-643-3307

E-mail ooba-t1421@pref.fukuoka.lg.jp



新生児の先天性代謝異常等検査がかわりました

福岡県では、昭和52年からフェニルケトン尿症など6つの先天性代謝異常等疾患についての検査が行われています（※1）。

近年、タンデムマス法という新しい検査法により、1回の採血でさらに多くの疾患について検査ができるようになりました。

平成25年4月1日から、これまでの6疾患に新たに13疾患を加えた19疾患（※2）に対象を拡大しました。検査はこれまでと同様、生まれて5～7日目に出生医療機関で血液をろ紙に採り、専門の検査機関で検査します。この検査は無料ですが、採血にかかる費用は有料ですのでご承知おきください。

※1 先天性代謝異常等検査とは

先天性の病気の中には、生後早い時期に採血し検査を行うことで診断できるものがあります。これらの病気は、放置していると心身の発達の妨げになり、生命にかかわる重い症状が出る場合がありますが、早期に発見し早期に治療につなげることで、発症を防ぐことが期待できます。

※2 検査の対象疾患（＊ 従来からの対象疾患）

〈アミノ酸代謝異常〉

フェニルケトン尿症＊、ホモシスチン尿症＊、メープルシロップ尿症＊、シトルリン血症1型、アルギニノコハク酸尿症

〈有機酸代謝異常〉

メチルマロン酸血症、プロピオン酸血症、イソ吉草酸血症、メチルクロトニルグリシン尿症、ヒドロキシメチルグルタル酸血症（HMG血症）、複合カルボキシラーゼ欠損症、グルタル酸血症1型

〈脂肪酸代謝異常〉

中鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症（MCAD 欠損症）、極長鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症（VLCAD 欠損症）、三頭酵素/長鎖 3-ヒドロキシアシル CoA 脱水素酵素欠損症（TFP/LCHAD 欠損症）、カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ-1 欠損症（CPT-1 欠損症）

〈糖代謝異常〉

ガラクトース血症＊

〈内分泌疾患〉

先天性甲状腺機能低下症＊、先天性副腎過形成症＊

新生児の先天性代謝異常等検査がかわりました

福岡県では、昭和52年からフェニルケトン尿症など6つの先天性代謝異常等疾患についての検査が行われています（※1）。

近年、タンデムマス法という新しい検査法により、1回の採血でさらに多くの疾患について検査ができるようになりました。

平成25年4月1日から、これまでの6疾患に新たに13疾患を加えた19疾患（※2）に対象を拡大しました。検査はこれまでと同様、生まれて5～7日目に出生医療機関で血液をろ紙に採り、専門の検査機関で検査します。この検査は無料ですが、採血にかかる費用は有料ですのでご承知おきください。

※1 先天性代謝異常等検査とは

先天性の病気の中には、生後早い時期に採血し検査を行うことで診断できるものがあります。これらの病気は、放置していると心身の発達の妨げになり、生命にかかわる重い症状が出る場合がありますが、早期に発見し早期に治療につなげることで、発症を防ぐことが期待できます。

※2 検査の対象疾患（※ 従来からの対象疾患）

〈アミノ酸代謝異常〉

フェニルケトン尿症＊、ホモシスチン尿症＊、メープルシロップ尿症＊、シトルリン血症1型、アルギニノコハク酸尿症

〈有機酸代謝異常〉

メチルマロン酸血症、プロピオン酸血症、イソ吉草酸血症、メチルクロトニルグリシン尿症、ヒドロキシメチルグルタル酸血症（HMG血症）、複合カルボキシラーゼ欠損症、グルタル酸血症1型

〈脂肪酸代謝異常〉

中鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症（MCAD 欠損症）、極長鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症（VLCAD 欠損症）、三頭酵素/長鎖 3-ヒドロキシアシル CoA 脱水素酵素欠損症（TFP/LCHAD 欠損症）、カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ-1 欠損症（CPT-1 欠損症）

〈糖代謝異常〉

ガラクトース血症＊

〈内分泌疾患〉

先天性甲状腺機能低下症＊、先天性副腎過形成症＊

先天性代謝異常等検査のお知らせ

福岡県では、昭和52年からフェニルケトン尿症など6つの先天性代謝異常等疾患についての検査が行われています（※1）。近年、タンデムマス法という新しい検査法により、1回の採血ですらに多くの疾患について検査ができるようになりました。

平成25年4月1日から、これまでの6疾患に新たに13疾患を加えた19疾患（※2）を対象を拡大しました。検査はこれまでと同様、生まれて5～7日目に出生医療機関で血液をろ紙に採り、専門の検査機関で検査します。この検査は無料ですが、採血にかかる費用は有料ですのでご承知おき下さい。

なお、検査結果が陽性の場合、精密検査の受診状況を把握したり、保護者の方のご相談に応じるため、お住まいの保健所から連絡し、必要に応じて家庭訪問を行っています。お気軽にご相談ください。

※1 先天性代謝異常等検査とは

先天性の病気の中には、生後早い時期に検査を行うことで診断できるものがあります。これらの病気は、放置していると心身の発達の影響になったり、生命にかかわる重い症状が出るがありますが、早期に発見し早期に治療につなげることで、発症を防ぐことが期待できます。

※2 検査の対象疾患（※ 従来からの対象疾患）

- 〈アミノ酸代謝異常〉
フェニルケトン尿症※、ホモシスチン尿症※、メーブルシロップ尿症※、シトルリン血症1型、アルギニノコハク酸尿症
〈有機酸代謝異常〉
メチルマロン酸血症、プロピオン酸血症、イソ吉草酸血症、メチルクロトニルグリシン尿症、ヒドロキシメチルグルタル酸血症、複合カルボキシルーゼ欠損症、グルタル酸血症1型
〈脂質代謝異常〉
中鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症（MCAD 欠損症）、極長鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症（VLCAD 欠損症）、三頭酵素/長鎖3-ヒドロキシアシル CoA 脱水素酵素欠損症（TFP/LCHAD 欠損症）、カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ-1 欠損症（CPT-1 欠損症）
〈糖代謝異常〉
ガラクトース血症※
〈内分泌疾患〉
先天性甲状腺機能低下症※、先天性副腎過形成症※

【ご家族の方へ】

- 検査対象の疾患には、いずれも治療法があります。適切な治療を受けることによって、多くの新生児は健康に発育します。
- 病気によっては、検査結果が判明する前に発症し、体調不良を呈しているかもしれません。その場合でも、早期の診断により迅速な治療が可能となります。
- この検査により、対象としている19疾患以外の疾患が見つかる場合もあります。その場合は、精密検査を受ける病院で、詳しい説明があります。
- この検査に関する情報は、「福岡県個人情報保護条例」に則り厳格かつ適正に管理します。

先天性代謝異常等検査のお知らせ

福岡県では、昭和52年からフェニルケトン尿症など6つの先天性代謝異常等疾患についての検査が行われています（※1）。近年、タンデムマス法という新しい検査法により、1回の採血ですらに多くの疾患について検査ができるようになりました。

平成25年4月1日から、これまでの6疾患に新たに13疾患を加えた19疾患（※2）を対象を拡大しました。検査はこれまでと同様、生まれて5～7日目に出生医療機関で血液をろ紙に採り、専門の検査機関で検査します。この検査は無料ですが、採血にかかる費用は有料ですのでご承知おき下さい。

なお、検査結果が陽性の場合、精密検査の受診状況を把握したり、保護者の方のご相談に応じるため、お住まいの保健所から連絡し、必要に応じて家庭訪問を行っています。お気軽にご相談ください。

※1 先天性代謝異常等検査とは

先天性の病気の中には、生後早い時期に検査を行うことで診断できるものがあります。これらの病気は、放置していると心身の発達の影響になったり、生命にかかわる重い症状が出るがありますが、早期に発見し早期に治療につなげることで、発症を防ぐことが期待できます。

※2 検査の対象疾患（※ 従来からの対象疾患）

- 〈アミノ酸代謝異常〉
フェニルケトン尿症※、ホモシスチン尿症※、メーブルシロップ尿症※、シトルリン血症1型、アルギニノコハク酸尿症
〈有機酸代謝異常〉
メチルマロン酸血症、プロピオン酸血症、イソ吉草酸血症、メチルクロトニルグリシン尿症、ヒドロキシメチルグルタル酸血症、複合カルボキシルーゼ欠損症、グルタル酸血症1型
〈脂質代謝異常〉
中鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症（MCAD 欠損症）、極長鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症（VLCAD 欠損症）、三頭酵素/長鎖3-ヒドロキシアシル CoA 脱水素酵素欠損症（TFP/LCHAD 欠損症）、カルニチンパルミトイルトランスフェラーゼ-1 欠損症（CPT-1 欠損症）
〈糖代謝異常〉
ガラクトース血症※
〈内分泌疾患〉
先天性甲状腺機能低下症※、先天性副腎過形成症※

【ご家族の方へ】

- 検査対象の疾患には、いずれも治療法があります。適切な治療を受けることによって、多くの新生児は健康に発育します。
- 病気によっては、検査結果が判明する前に発症し、体調不良を呈しているかもしれません。その場合でも、早期の診断により迅速な治療が可能となります。
- この検査により、対象としている19疾患以外の疾患が見つかる場合もあります。その場合は、精密検査を受ける病院で、詳しい説明があります。
- この検査に関する情報は、「福岡県個人情報保護条例」に則り厳格かつ適正に管理します。

先天性代謝異常等検査申込書兼同意書

わたしの第（ ）子（ ）について、標記検査を受けさせたいので申し込みます。

必要に応じて、速やかに適切な治療が受けられ、また地域における支援が受けられるように、検査に関する情報を関係機関（出生した医療機関や保健所等）に提供することについて同意します。

平成 年 月 日

福岡県知事 殿

保護者

住 所 福岡県

電 話 —（ ）—

保護者

氏 名

退院後の

連絡先

電 話 —（ ）—

先天性代謝異常等検査申込書兼同意書

わたしの第（ ）子（ ）について、標記検査を受けさせたいので申し込みます。

必要に応じて、速やかに適切な治療が受けられ、また地域における支援が受けられるように、検査に関する情報を関係機関（出生した医療機関や保健所等）に提供することについて同意します。

平成 年 月 日

福岡県知事 殿

保護者

住 所 福岡県

電 話 —（ ）—

保護者

氏 名

退院後の

連絡先

電 話 —（ ）—